

※写真・イラストはイメージ

唐澤山神社

風鈴参道

「天明鑄物涼音の杜」

数百個の風鈴が涼しい音色を奏でます

風鈴は、かつては魔除けや疫病退散の縁起物として扱われてきました。

一千年以上の歴史を誇る佐野市の伝統工芸「天明鑄物」で作られた風鈴。

その音色には、平穏な日々を願う気持ちが入められています。

今年は来場者の皆様が体験しながら

参拝を楽しんでいただけるよう、

拝殿前に設置された大きな風鈴を

自ら鳴らして参拝していただく「風鈴詣」や

初の「唐澤山神社オリジナル風鈴みくし」等

をご用意いたしました。

祈願短冊

祈願短冊にお願いごとを書いて風鈴に飾る特設スペースを用意しております。風鈴の音色によって皆様の願いごとが叶いますように。

特別イベント開催

8月9日土・10日日

(雨天中止)

夜間参拝・ナイトウォーク

【18:00~21:00】 時間内自由参拝 最終入山20:30

提灯を持って夜の風鈴参道を散策しませんか。夜の唐澤山神社の空気が、風鈴の音色と相まって夏の涼しいひとときを楽しくてくれます。

参加無料 参道入口にて提灯を貸し出します。

オリジナル提灯作り(絵付け)

【17:30~19:30(最終受付)】※材料費がかかります。

※1日限定50個、なくなり次第終了

オリジナル提灯を持って夜の風鈴参道を散策して見ませんか?

レトロ縁日

【18:00~21:00】

昔ながらの縁日の射的やゲームなど、懐かしの雰囲気をお楽しみください。

令和7年

7月12日土~8月24日日

唐澤山神社 参道・山門前にて

第33回さの秀郷まつり協賛

オープニング

さの秀郷太鼓【18:00~18:15】

唐澤山神社御祭神藤原秀郷公の勇壮な伝説にちなんで創作されました。力強く迫力のあふれる太鼓の響きが特徴です。

納涼ライブ【19:00~19:30】〈神社拝殿〉

TAPPY(ハンドパン演奏者)

ヒューマンビートボックスとして主にクラブ等で活動。多くのミュージシャンとセッションを繰り返していく中でハンドパンと出会い、その魅力に取り憑かれる。ハンドパンの持つ音の魅力を活かしたオリジナル楽曲を中心に演奏を行い、栃木県内のミュージックバー等で活動している。

・ハンドパンとは

スチール製の新しい楽器で、UFOのような形状を持つスチール製/ステンレス製の打楽器です。その美しい音色と特異な形状から、世界中で広く愛されています。

ハンドパンと風鈴の神秘的なコラボレーションをお楽しみください!

天体観測【18:00~21:00】〈南城館前〉

今夜から使える天体望遠鏡や、ゲームで天体グッズなどをゲット! (有料) 暗くなってからは天体望遠鏡で天体観察(無料)。未知の世界へ!

テルさんと一緒に!

謎解き! お化けナイトツアー

【19:30~】

受付時間 17:30~(参道入口)

定員 20名(先着) **参加無料**

謎が解けた方に粗品をプレゼントします!

唐澤山神社 風鈴参道

～天明鑄物 涼音の杜～

今や唐澤山神社の夏の風物詩である納涼行事「唐澤山神社 風鈴参道～天明鑄物 涼音の杜～」では、佐野市の伝統工芸である「天明鑄物」でできた風鈴が数百個並び、その涼しげな音色が訪れる人々の心に涼をもたらします。風鈴は、佐野市亀井町の栗崎鑄工所が作成したもので、金、銀、銅の3色ございます。それぞれ直径4cm、高さ5cmの小ぶりのサイズ感が可愛らしく、その音色もとても繊細で美しいものです。

緑に囲まれた唐澤山神社から聞こえる風鈴の音色が、少しでも夏の暑さを和らげ、心地の良いひとときを皆さまにお届けできますように。

「風鈴」の由来

風鈴は、中国から伝わった「風鐸（ふうたく）」がもとになったと言われています。古くは唐の時代の中国に、占風鐸（せんふうたく）という占いがあり、竹林の東西南北に、風鐸という青銅でできた鐘のようなものを吊るし、風の向き、音の鳴り方で物事の吉凶を占うもので、政治判断等が行われていたそうです。その風鈴が、仏教とともに日本に伝わったと云われています。

昔の日本では、強い風は流行り病や邪気などの災いを運んでくると考えられていました。しかし、風鐸の音が聞こえる範囲は聖域とされ、災いから守ってくれる「お守り」としてお寺の軒の四隅に吊るされるようになったそうです。当時は青銅製だったので、今の風鈴のような軽やかな音ではなく、やや鈍く重い音だったと云われています。

平安時代には、貴族が魔除けとして軒先に吊るしていたそうで、「風鈴」という呼び名はこの頃から使われるようになったとされています。

天明鑄物って？

鉄、銅、銀などの金属を溶かして型に流し込み、固めて作る物を「鑄物」といいます。佐野市には、千年以上前から鑄物づくりが受け継がれており、日本で一番古い鑄物の産地です。当時、佐野は「天明」という地名で呼ばれ、佐野（天明）で作られたもの、佐野（天明）の職人が作ったものを「天明鑄物」と呼び、佐野市を代表する伝統工芸です。

室町時代、茶の湯の流行と相まって天明の茶釜は、九州の芦屋釜とともに「西の芦屋、東の天明」として天下にその名を知られました。江戸時代には鍋や釜も製造されるようになりますが、現在では花瓶、茶器など高級な美術工芸品にその優れた技術が受け継がれ、高い評価を得ています。

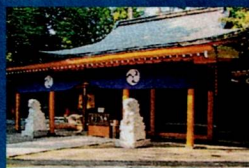
天明鑄物と唐澤山神社 その由縁は藤原秀郷公から

天明鑄物の起源は平安時代、天慶2年（939年）平将門の乱のため、唐澤山神社御祭神 藤原秀郷公が武具製作者として河内の国（現在の大分）から5人の鑄物師を佐野に移り住ませたことに始まります。

秀郷公の御神徳が降り注ぐかのような凛とした天明鑄物の風鈴の音色が皆様をお迎えいたします。

唐澤山神社

唐澤山神社は、栃木県佐野市の唐沢山山頂、唐沢山城本丸跡に創建された、藤原秀郷公をお祀りする神社です。国指定史跡に指定された東日本有数の山城で、400年以上前に築かれた高石垣など、昔の姿を現在も数多く残しています。また、豊かな自然を有する唐沢山一帯は、栃木県立自然公園に指定されており、四季折々の自然を求め、多くの人が訪れます。



●交通アクセスのご案内

電車／◆東武・JR佐野駅からタクシーで約20分 ◆東武田沼駅からタクシーで約10分
自動車／◆佐野田沼ICから約15分 ◆佐野藤岡ICから約25分 ◆佐野SAスマートICから約20分

【お問い合わせ】

唐澤山神社 社務所 佐野市富士町1409 ☎0283-24-1138

唐澤山神社 公式HP
<http://karasawayama.com>

唐澤山神社

検索



Instagram
@karasawayama_shrine
写真映えるスポットもたくさんございます！

